

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式							
M212Q304		急性期看護方法論 (Acute Nursing Practice )					成人看護学								
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態							
必修	1	3	医学部看護学科	前期	金3,金4	日本語		複数(共同)							
担当教員	氏名 末弘 理恵・新宮 千尋・脇幸子・大野 夏稀・佐藤 昂太郎 E-mail suehiror@ 内線 5053														
授業の概要	手術療法は、身体的な側面に加え、精神的・社会的にも影響が大きく、多くの場合、手術後の生活の再構築が必要となる。本科目は、成人急性期・回復期看護方法論での学習をふまえ、手術療法による影響とその看護について学習する。さらに、術後に機能低下もしくは喪失した機能に対する機能維持・回復のリハビリテーションや退院後のサポートシステムについて学ぶ。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	
目標1 周手術期における対象および家族の特徴と看護の原則を理解できる。															
目標2 周手術期における対象および家族への看護技術の原則を理解できる。															
目標3 手術療法による機能低下もしくは喪失した機能をもつ対象および機能回復・維持に向けた支援について理解できる。															
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)							3	2	3	1			1		
授業の内容															
1	周手術期にある対象への看護 ・周手術期の患者の特徴・倫理、手術前期の看護														
2	周手術期にある対象への看護 ・周手術期の患者の特徴・倫理、手術前期の看護														
3	周手術期にある対象への看護 ・手術を受ける患者への麻酔の実態と影響、手術治療の実態														
4	周手術期にある対象への看護 ・手術直前～中の看護、手術後期の看護														
5	周手術期にある対象への看護 ・手術直前～中の看護、手術後期の看護														
6	周手術期にある対象への看護 ・手術直前～中の看護、手術後期の看護														
7	周手術期の対象を支える看護の実態 ・点滴静脈内注射の作成・実施														
8	周手術期の対象を支える看護の実態 ・術直後の看護：準備・観察ケア、創傷ケア、離床														
9	周手術期の対象を支える看護の実態 ・術直後の看護：準備・観察ケア、創傷ケア、離床														
10	周手術期の対象を支える看護の実態 ・術直後の看護：準備・観察ケア、創傷ケア、離床														
11	生活の再構築を余儀なくされる対象の看護 ・感覚器機能障害をもつ対象の看護														
12	生活の再構築を余儀なくされる対象の看護 ・運動機能障害をもつ対象の看護														
13	生活の再構築を余儀なくされる対象の看護 ・性機能障害をもつ対象の看護														
14	周手術期にある対象への看護 ・事例検討の発表														
15	周手術期にある対象への看護 ・事例検討の発表														
ラーニング	A:知識の定着・確認	A:看護技術演習、小テスト、授業評価シート記入				工 夫 の 他 の	・周手術期の対象をイメージできるよう、事例を用いて、講義・演習・看護計画立案等を進行する。 ・事例モデルや看護技術に関する物品を展示し、自己学習につなげる。								
	B:意見の表現・交換	B:グループ討議													
	C:応用志向	C:ロールプレイ、事例課題(看護計画等)													
	D:知識の活用・創造														
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	教科書・DVD・e-learningによる予習(15h)。事例の演習・アセスメント・看護計画立案のグループ討議(15h)。													
	事後学修	配布資料・教科書・小テスト・e-learningを用い、授業で学習した内容を復習する(15h)。													
	想定時間合計														
教科書	林直子他編(2024)看護学テキストNICE成人看護学急性期看護 概論・周手術期看護改訂第3版南江堂978-4-524-23231-4 野崎真由美他(2022)看護学テキストNICE成人看護学成人看護技術改訂第3版,南江堂978-4-524-22954-3														
参考書	黒田裕子監修(2021):看護診断のためのよくわかる中範囲理論 第3版,Gakken 978-4-7809-1399-6														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
		レポート	10%									
	期末試験	90%										
注意事項	各授業の出席状況の確認は、授業評価シートの提出をもって行う。											
備考												
リンク												
	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の 実務 経験	未弘 理恵（看護師）、脇幸子（看護師）、大野 夏稀（看護師）、佐藤 昂太郎（看護師）、新宮千尋（医師）											
実務経験を いかした教 育内容	初学者に対して、手術をうける者・家族のイメージが持てる様、臨地における具体的な治療や看護実践を伝え、周手術期看護の意義と重要性が理解できるよう、授業を構成する。											